

東北の一員としての自覚と責任をもって

東北地方太平洋沖地震 最上町災害対策 本部情報

No.2

平成23年6月9日発行



東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)から
まもなく3か月が経とうとしている
この間における最上町の取り組みを点検し
これからの復興支援にむけて
私たちに何が出来るのか
共に考えてみたい

MENU

- 地震発生からこれまでの
主な動き 2-3P
- 東北の一員としての
自覚と責任をもって 被災者支援に 4-5P
- 善意の紹介 6-7P
- 情報ほっとらいん 8P

節電にご協力ください

東日本大震災の被害により、電力供給が減少しています。特に夏は電力の需要が高まることから、生活や経済活動に支障が生じる恐れがありますので、これまで以上の節電に協力をお願いします。



削減率の合計が
15%をこえるように
節電しましょう!

◆エアコン

- ・室温28℃を心がけましょう。→10%削減
- ・すだれなどで窓からの日差しを和らげましょう。→10%削減
- ・無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。→50%削減

◆冷蔵庫

- ・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。→2%削減

◆照明

- ・日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。→5%削減

◆テレビ

- ・省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。→2%削減

◆暖房便座

- ・便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用しましょう。→1%未満

◆炊飯器

- ・タイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。→2%削減

◆待機電力

- ・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。→2%削減

募集! 災害復興支援ボランティア

最上町社会福祉協議会 TEL 43-3180

個人で被災地での支援ボランティアを考えている高校生以上の方を対象に、町社会福祉協議会では、「東日本大震災被災地復興支援ボランティア」を募集しています。定員になり次第、募集が締め切られますので、お早めにお申し込みください。

◆活動日 7月3日(日)

◆行程

- 5:40 集合(ウエルネスプラザ福祉センター)→
- 6:00 出発→8:00 現地到着→9:00 作業開始→16:00 作業終了→17:00 現地出発
- 19:00 最上町到着

◆活動地 宮城県石巻市内

◆活動内容 津波被害を受けた家屋の家財道具整理、畳の搬出、泥出しなど

◆対象者 高校生以上

※他に対象条件がありますので、当日の携行品の確認も含め、町社会福祉協議会にお問い合わせください。

◆参加費 一人490円(保険料)

◆申込締切日・申し込み先

6月23日(木)まで、町社会福祉協議会に直接お申し込みください。

とぴっくす



●『ひさい地のみな様 ふうとうにむけてがんばってください』のメッセージを記した千羽鶴が、3人のお子さんから高橋町長に届けられました。写真左から、菅麻理亜さん(8歳)、華蓮さん(5歳)、紫音さん(3歳)の仲良し3兄弟(法田下)です。<5.25>



●「最上町音頭保存会」の皆さんが、最上寮の避難所をボランティア訪問。スカットボール大会や健康体操、フォークダンスなどで楽しいひと時を過ごしました。

地震発生からこれまでの 主な動き

災害対策本部の取り組みを中心にまとめました。詳しくは広報もがみ(3~5月号)をご覧ください。

東北地方太平洋沖地震発生

三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0を観測。最上町での震度は「5弱」。地震発生直後に町内全域で停電。漏水により一部の地域で断水。JRは運行を停止。電力の復旧は12日の午後7時頃。町内での人的被害はなかった。

震災により、物流システムがマヒ。燃料や食料品等の品不足に陥る。

町内の商店や食品加工業者、農業団体に、燃料や食料、日用品の安定供給にむけて協力を要請する。

▼被災地からの町内温泉旅館宿泊者へ
1人1泊につき1000円を助成
3月11日から5月31日まで
延べ3009人が利用。

▼第1回最上町災害対策調整会議を開催
消防、警察、福祉、農業、商工業、金融、農業、ボランティア等の町内の関係機関・団体の代表者で構成。「被災者受け入れ班」「ボランティア支援班」「生活支援班」の3つのグループに分かれて、きめ細かな対応策について協議を行った。

この頃からガソリンスタンド等の混雑が緩和され始めた。

▼最上中最高寮の清掃作業に一般ボランティアや中学生・高校生が大勢参加。

▼余震。最上町では震度5弱を観測
町内全域で停電。復旧は翌8日の午前8時10頃。消防団がパトロールを実施。JRは点検作業のため運行を停止。

▼町が町内と新庄駅を結ぶ臨時バスを運行
高校生の通学に影響が生じたため、町が14日と15日の2日間に臨時バスを運行。区間は町内各所と新庄駅。

▼民間団体での被災地へのボランティア活動が本格化

- 町観光協会とJA新庄もがみ、商工会の各青年部が合同で、岩手県大船渡市に救援物資を提供。(3.20)
- NPO法人やまなみ/宮城県気仙沼市と石巻市で炊き出しと救援物資を提供。(3.21、4.3) 石巻市の被災者を対象に、赤倉温泉旅館への無料サービスを提供。(4.13-22)
- おたがいさまプロジェクト(町内有志)/岩手県大槌町、宮城県南三陸町・女川町で炊き出し活動。(3.23、4.8、4.9)
- 立小路夢童の会/宮城県気仙沼市で炊き出し活動。(4.16)
- 町職員労働組合/大船渡市で炊き出し活動。(5.3)

▼避難所での多彩なボランティア

医師による健康観察、食事や食材の提供、美容サービス、ヴァイオリンと歌のコンサート、映画上映、衣料や学用品の提供等、多種多様な内容のボランティアが避難所を訪問。

▼町内各所で放射線物質の検査

- 検査箇所及び検査対象物
・役場水道水/3回実施。いずれも不検出。(4.15、4.22、5.6)
- ・最上中グラウンド/0.11マイクログシーベルト。基準以下。(4.25)
- ・アスパラガス(路地)/不検出。(5.24)
- ※最上地区内の農産物(ニラ、牧草、タラノメ等)の検査でも不検出。

3.11

14:46



▼最上町災害対策本部を設置
3月11日、午後3時に本部を設置。安否確認や被害状況の確認、安全対策の啓発にむけて、本部をはじめ消防団、区長、民生児童委員等との連携により対応。各集落で防災対策会議を開催したほか、白川端自主防災会では自主的に緊急避難所を設置。そのほか本部では、断水地域への給水活動や水道水の復旧にあたった。

3.14~

3.16~

3.11~4.8

▼義援金・救援物資受け付け開始
・義援金/役場、中央公民館、高齢者福祉センター
・救援物資/中央公民館、高齢者福祉センター、大堀地区公民館、富沢小学校

▼避難者支援ボランティア募集開始
第1避難所/中央公民館 第2避難所/健康福祉プラザ保養センターもがみ

▼避難所を開設
第1避難所/中央公民館 第2避難所/健康福祉プラザ保養センターもがみ



〈対策本部による支援〉
▼岩手県大船渡市(旧三陸町)への支援
・第1回/3月13日 物資提供
・第2回/3月17日 義援金贈呈
・第3回/3月26日 炊き出し、物資提供

▼宮城県南三陸町への支援
・第1回/4月10日 給食センターと黒澤餅搗頒保存会が炊き出しを実施。

4月

3.30~4.5

▼宮城県石巻市への支援
・最上地区8市町村が合同し、避難所等での炊き出しを実施。最上町の担当は、おにぎり10000個(3月30日のみ)と汁物。

▼長期滞在型・第3避難所を開設
▲最上中最高寮を改装▼
平成7年以降、利用されていなかった最上中学校の最上寮を改装し、町内の避難者を対象とする長期滞在型の避難所を開設。5月31日時点での入所者は27人。内訳は、宮城県民が10人、福島県民が17人。(乳幼児4人、小学生4人、成人者19人)



▼南三陸町・石巻市・大船渡市の被災者へ対象に町内温泉旅館への無料宿泊招待「リフレッシュプラン」をスタート
被災者支援と本町の経済活性化を目的に、町の単独事業として実施。対象者は、本町と特に関わりが深い3市町の避難者。避難所単位で申し込みを受け付け、2泊3日・6食・送迎付きのサービスを無料で提供。5月22日時点での利用者数は2308人。また、6月からは県の補助を受けて、石巻市を対象にした無料招待のサービスを開始している。

4.22~5.24

5月

4.26~4.30

▼県の広域支援派遣隊として町職員1名を岩手県山田町へ派遣

▼東京都板橋区にペットボトルの水2万本を提供
本町と災害協力協定の関係にある板橋区に、5000ミリリットル入りペットボトルの水2万本を提供。



▼石巻市とのサッカー交流
石巻市の開北FCが、最上中グラウンドで行われた「新庄地区春季サッカーフェスティバル」に出場し、サッカー交流を行った。また試合後は、黒澤餅搗頒保存会の皆さんが餅料理を振舞った。

5.23



▼第2回最上町災害対策調整会議を開催
NPO団体や商工業者等、第1回調整会議の構成人員を増加して開催。震災復興を主としたテーマのもと、被災者受け入れ、被災地支援、地域経済活性化対策の3つのチームに分かれて検討を行った。全体会や各チームでの主な検討内容は次のとおり。
▽避難所生活での自立支援に重点を置くべきである。▽民間での被災地ボランティアでは、資金確保と移動手段の確保が課題であり、支援が必要になってきている。▽風評被害や自粛ムードにより、特に旅館や商店に直接的な影響が生じている。被災者の受け入れや保証制度の規制緩和が必要。

6月



▼第2回最上町災害対策調整会議を開催
NPO団体や商工業者等、第1回調整会議の構成人員を増加して開催。震災復興を主としたテーマのもと、被災者受け入れ、被災地支援、地域経済活性化対策の3つのチームに分かれて検討を行った。全体会や各チームでの主な検討内容は次のとおり。
▽避難所生活での自立支援に重点を置くべきである。▽民間での被災地ボランティアでは、資金確保と移動手段の確保が課題であり、支援が必要になってきている。▽風評被害や自粛ムードにより、特に旅館や商店に直接的な影響が生じている。被災者の受け入れや保証制度の規制緩和が必要。

被災者支援に

一町内避難者の状況について

6月3日現在における町内避難者数は58人。世帯数は26です。その内訳を原則にみると、宮城県が34人、福島県が24人となっています。

これを避難先で区分すると、最上寮に27人、町営住宅6人、旅館やホテル8人、一般住宅13人、病院・福祉施設4人となります。また、58人の避難者のうち、小学生が6人、乳児を含む未就学児が9人、20歳以上の成人者が43人(65歳以上18人)おります。5月当初のピーク時が80人でしたので、その頃と比べると大幅に人数が減っています。その理由には、仮設住宅や2次避難先として町外の旅館や公営住宅に移られた、などの点があげられます。町内避難者の半数を超える人数を占めているのが「最上寮」

町内避難者の状況と支援



▲写真/キリスト教黒澤教会のみなさんによるボランティアの様子。チヂミ韓国料理の伝統料理が入所者に振舞われました。

最上寮での避難生活

最上寮を避難所を選んだ理由は次のとおりです。
①個室空間が確保できる。
②調理器具が充実している。
③学校や子ども園、商店、病院が近い。

3月下旬から4月初めにかけて最上中生徒をはじめとする、たくさんさんのボランティアのみなさんから、施設の清掃作業にご協力をいただき、4月6日に開所しました。

最上寮での生活の基本は『自主自立』です。食事は、町が社会福祉協議会に委託して提供していますが、日常的な施設の管理や調理作業への協力、配膳な

どは、入所者のみなさんがそれぞれ分担して行っています。

また、より快適な生活を送るために世帯の代表者で「運営委員会」を組織し、このなかで様々な問題点の解決にむけた話し合いが行われています。運営委員会には委員長、副委員長、生活環境班長、食事班長、保健衛生



もんま かずたか
門馬 一公さん
宮城県東松島市・昭和10年生まれ

避難所の運営
委員長に聞く
INTERVIEW

市からの指示で避難所を転々

この度の震災で、5年前に改装したばかりの自宅が全壊しました。記憶に生々しい50年前のチリ地震の時さえ、防波堤で守られたのですから、未だ“現実のもの”として受けとめられないです。地震後、直ちに近くの避難所に避難しましたが、市の職員から「ここは津波に襲われる危険性が高いから他所に移動するように」との指示。こんな展開が何度かあり、避難所を転々とする日が4日間ほど続きました。

郷里を離れようと一大決心したのは、息子から「秋田方面に避難しよう」と相談されたからです。忘れもしない3月15日のことです。この日の夜9時過ぎ、近所の親しい仲間18人と共に、トラックの荷台に乗り込み、後ろ髪が引かれる思いで避難所を後にしました。

最上町との運命的な出会い

寒中の深夜、しかもトラックの

荷台での移動は辛かったですね。毛布一枚に身を包み、仲間と肩を寄せ合って寒さをしのぎました。

県境を越え、瀬見の「川の駅」のコンビニでトイレ休憩を。ここで、店員さんと話をしているうちに「健康保養センター」の存在を知り、店員さんが早速、連絡を入れてくれました。

ほどなくして、大場社長さん自らが私たちを出迎えてくださり、冷え切った体を温かい温泉でもてなしてくれました。

その後、大場社長さんのご厚意に甘え、最上寮に移るまでの1か月近くの間、大変快適な生活を送らせていただきました。

運動でも言うのでしょうか。当初は“秋田”を目的地としていたのですが、途中下車したことが不思議な縁となり、最上町が長期滞在地となったというわけです。

最上寮での生活

最上寮での生活も大変満足しています。個室を与えていただき、

おいしいご飯をいただくことができ、感謝にたえません。とりわけ、食事を作ってくださいるスタッフのみなさんには、本当に頭の下がる思いです。

最上町に来て感じるのは、子供たちのあいさつが大変すばらしいということです。毎朝、子供たちの「おはようございます」の明るく元気なあいさつに、いつも心が癒され励まされています。

まちのみなさんも親切な方ばかりで、散歩のときなどは、初対面の方からよく声をかけられます。

私を含め大半の入所者が仮設住宅に申し込んでいますが、この先の見通しは“不透明”としか言いようがありません。

心のなかに不安を抱えながらではありますが、早期の震災復興と最上町のみなさんへの感謝を思いながら、避難所での生活を送っています。

旅館や一般住宅の避難者

元気に通学・通園しています。また、開所以来、料理や食材等の提供者をはじめ、美容やマッサージサービス、映画上映、コンサート等のボランティアがたくさん訪れています。

国の災害救助法に基づき、最上寮は「1次避難所」として、また現在、4人の避難者が入居している温泉旅館(2施設)については「2次避難所」として位置付けられています。

2次避難所は、避難者の健康悪化を防ぐために、旅館やホテル等の民間宿泊施設に対して、一人1泊につき5000円を上限に国が負担する仕組みになっています。

町営住宅やせんしん館の入居者8人については、県や町がそれぞれ独自の支援を行っています。また、一般世帯への避難者を含め、すべての避難者のみなさんに対して、町対策本部では、国や被災県から送られてくる災害救援の情報提供や物資の提供等を行っております。

義援金をお寄せいただいた皆さん

共同募金会への寄附金

〈個人〉

▽青木孝▽青木裕子▽飛鳥尚
▽飛鳥正子▽阿部昭▽阿部昭
▽阿部昭▽阿部順▽阿部忠義
▽阿部千句美▽阿部剛▽阿部
直樹▽阿部範子▽阿部英雄▽
阿部政行▽阿部光江▽阿部優
子▽阿部竜▽荒木広康▽五十
嵐さき▽五十嵐丈上▽五十
嵐輝▽五十嵐美穂▽五十嵐
八重▽五十嵐隆一▽石原キク
石原とみ子▽石山薫▽石山繁
▽石山友美▽石山春雄▽石山
久子▽板垣隆▽板垣妙子▽伊
藤登弥▽伊藤明美▽伊藤和美
▽伊藤秀子▽伊藤美江▽伊
藤ヨシ▽井上カズ子▽井上上
工子▽井上浩子▽今井美智子▽
岩山清喜▽藤藤悦子▽及川けん
子▽黄木幸一▽大江タツ▽大
江ヨシ子▽太田孝二▽大塚文子
▽大塚好治▽大沼愛子▽大沼
和彦▽大沼哲也▽大沼智美▽
大沼信子▽大沼政義▽大塚幸
▽大塚大場恒▽大塚晃▽大塚
あゆみ▽大塚栄三▽大塚かおり
▽大塚和子▽大塚勝子▽大塚
キミ子▽大塚喜恵子▽大塚啓一
▽大塚重義▽大塚順子▽大塚
敏江▽大塚久子▽大塚ラジ子▽
大塚美恵子▽大塚美花▽大塚
利恵▽尾形みゆき▽尾形盛義
▽岡野市朗▽小川悦子▽小川
祥子▽小川進▽小川昭▽小川
正幸▽奥本和枝▽奥山ちず子



総額 12,723,497円

- ◆共同募金会取り扱い分 4,969,485円
- ◆町指定寄附金取り扱い分 2,518,000円
- ◆旧三陸町取り扱い分 5,236,012円

▽奥山ワキ子▽押切一男▽押切
香奈▽押切謙▽押切恵美▽
笠原健▽笠原和子▽笠原勝義
▽笠原キミ子▽笠原さよ▽笠
原東治▽加藤忠一▽加藤マツ▽
叶内さゆり▽金田常也▽金田ひ
ろ子▽川村保子▽菅明子▽菅
恭子▽菅紗羽▽菅さおり▽菅
新一▽菅詩織▽菅千晶▽菅輝
美▽菅利勝▽菅智子▽菅徳嘉
▽菅真奈美▽菅真利子▽菅光
▽木内一義▽木川京子▽菊池
貢一▽岸孝志▽岸鉄江▽岸ひろ
み▽岸恵美▽草柳礼子▽香沢
保代▽熊沢ヨリ▽蔵津かつよ
▽藤津松雄▽黒坂昭男▽黒坂
武美▽古関今朝夫▽岡田保
▽小関潤▽小関信昭▽後藤
勝彦▽後藤一志▽後藤さよみ▽
後藤律子▽小林大樹▽今田郁子
▽高藤勲▽斉藤工子▽斉藤久
美子▽斉藤里美▽斉藤タ

▽子▽斉藤てる子▽斉藤ノブ
▽斉藤勝▽斉藤美栄子▽斉藤
光雄▽坂井一恵▽坂井三津子
▽佐々木大穂▽佐々木眞子▽佐
々木修一▽佐々木未子▽佐藤
順子▽佐藤隆▽佐藤善丈▽佐
藤武文▽佐藤俊之▽佐藤俊浩
▽佐藤ノブ▽佐藤智和▽佐
藤春美▽齊藤昌広▽佐藤洋子
▽しばさきのあ▽柴崎ふじ子▽
柴崎三代子▽柴田広子▽島田
忠▽下山美江▽山下茂▽山下
恵▽下山善二▽竹澤優子▽田
島耕太郎▽田島純一郎▽橋岡
みつ子▽田中茂男▽田中正宏▽
田原幸一▽田村ミヅ子▽田村ミ
エ子▽中鉢ハル子▽中鉢由香▽
ツギ子▽シムミット▽寺崎安男
▽寺崎武弘▽富塚博通▽永井

俊▽中川俊子▽中川ノブ子▽
長倉昭子▽中島日出▽西塚
衛一▽西塚雄大▽新田義成▽
二戸政一▽二戸幸子▽二戸幸
子▽二戸智久▽二戸愛▽二戸
悦郎▽二戸栄美▽二戸修▽
二戸佐知子▽二戸智久▽二戸
正子▽二戸源義▽沼澤野口
沼澤久夫▽沼澤美佐▽沼澤口
颯▽野口由美子▽野島栄子▽
間絵理▽間良子▽橋本さち子
▽早坂浩一▽早坂千代子▽早
坂実▽林優子▽原田まゆみ▽
▽樋口チヲ▽深田順治▽福井ヤ
ス子▽藤井繁則▽藤井紀登男
▽藤井靖▽藤原勝▽細矢昭男
▽堀幸恵▽藤本郷高▽松田千工
子▽松田憲夫▽松田ヒサ▽松田
幸雄▽水木美子▽森めぐみ▽
森谷律子▽矢口正次▽梁瀬俊
雄▽山口宏▽山口真由美▽山
口美栄子▽山崎良子▽山田博
▽山田覚▽山田紀俊▽山田明
正▽結城あゆみ▽結城伊勢治
▽結城クニ子▽結城健▽結城ハ
ツ子▽結城真智子▽結城流星▽
遊佐幸子▽吉田貞美▽吉田重
子▽吉田武美▽吉田武美▽吉
田徹▽吉田ミチ子▽渡部成子▽
渡辺恭子▽渡部二子▽渡部孝
男▽渡辺俊幸▽渡部麻衣▽渡
部よし子▽渡辺礼

▽株 大沼建設▽有 大沼産業
▽有 大沼産業社員 同▽株
地区公民館わんぱく学級▽株
教会▽有 斉藤自動車▽最北建

設備機▽堺田公民館▽沢原集
落▽新庄北高最上校職員一同
▽新田部落会▽東部警備センタ
1 菌茸部会▽永井医院▽永井
医院有志一同▽なつかしスタ
ン会加盟会 同▽東法田元氣
な村づくり協議会▽堺田分水嶺
コンサート実行委員会▽ボラン
ティアサークルめたせこい▽
有最上ケークス▽株最上振
興▽最上町議会▽最上町建設
業部会▽最上町横川女性部▽
最上町役場管理職会▽有かん
とめ

設機機▽堺田公民館▽沢原集
落▽新庄北高最上校職員一同
▽新田部落会▽東部警備センタ
1 菌茸部会▽永井医院▽永井
医院有志一同▽なつかしスタ
ン会加盟会 同▽東法田元氣
な村づくり協議会▽堺田分水嶺
コンサート実行委員会▽ボラン
ティアサークルめたせこい▽
有最上ケークス▽株最上振
興▽最上町議会▽最上町建設
業部会▽最上町横川女性部▽
最上町役場管理職会▽有かん
とめ

▽株 大沼建設▽有 大沼産業
▽有 大沼産業社員 同▽株
地区公民館わんぱく学級▽株
教会▽有 斉藤自動車▽最北建

設備機▽堺田公民館▽沢原集
落▽新庄北高最上校職員一同
▽新田部落会▽東部警備センタ
1 菌茸部会▽永井医院▽永井
医院有志一同▽なつかしスタ
ン会加盟会 同▽東法田元氣
な村づくり協議会▽堺田分水嶺
コンサート実行委員会▽ボラン
ティアサークルめたせこい▽
有最上ケークス▽株最上振
興▽最上町議会▽最上町建設
業部会▽最上町横川女性部▽
最上町役場管理職会▽有かん
とめ

設備機▽堺田公民館▽沢原集
落▽新庄北高最上校職員一同
▽新田部落会▽東部警備センタ
1 菌茸部会▽永井医院▽永井
医院有志一同▽なつかしスタ
ン会加盟会 同▽東法田元氣
な村づくり協議会▽堺田分水嶺
コンサート実行委員会▽ボラン
ティアサークルめたせこい▽
有最上ケークス▽株最上振
興▽最上町議会▽最上町建設
業部会▽最上町横川女性部▽
最上町役場管理職会▽有かん
とめ

〈個人〉

▽青木公▽青木正義▽赤川一
彦▽赤川一夫▽赤川スケ子▽浅
野目美和子▽飛鳥正子▽阿部
徹▽阿部徳子▽阿部ナカ子▽
阿部直樹▽阿部英雄▽阿部雄
一郎▽阿部徳▽阿部由美▽
阿部佳隆▽阿部竜▽新井美和
▽荒木和▽荒木隆▽有路孝
子▽五十嵐忍▽五十嵐輝▽
五十嵐千代子▽五十嵐光子▽五
十嵐隆一▽石沢修一▽石山英
昭▽石山久子▽石山真知子▽
板垣隆▽板垣大和▽伊藤英治
▽伊藤正▽伊藤和久▽伊藤進
▽伊藤隆▽福垣京子▽井上栄
一▽井上栄司▽井上和子▽井
上政良▽井上真由美▽今井文
子▽遠藤昭博▽遠藤悦子▽大
石紳一▽大沼昭雄▽大沼智
百子▽大沼孝美▽大沼広子▽大
大場美見子▽大場良子▽大山
喜久子▽尾形和男▽尾形忠
岡野一郎▽小川悦子▽小川真
志▽小川順子▽小川正幸▽奥
山薫▽奥山一子▽奥山茂智▽
奥山征一▽奥山裕山ちず子▽
山德行▽奥山裕子▽奥山好子
▽押切京子▽押切さつき▽押切
新悦▽小野孟伸▽小野美穂▽
海藤玲子▽海和八▽笠原さよ
子▽笠原信吾▽笠原茂▽笠原
重一▽笠原広子▽笠原ミヅ子▽
片山香代子▽加藤雅雄▽加藤
伸司▽加藤晴子▽加藤雄▽金田
門昭明▽香▽金子正人▽金田

綾子▽金田明枝▽金田信吾▽
金田常也▽金田俊也▽金田一
▽金田ひろ子▽金田裕美▽川田
裕美▽菅綾子▽菅あかり▽菅
勝行▽菅勝一▽菅信一▽菅滋
美▽菅清一▽菅孝志▽菅隆
生▽菅俊弘▽菅智子▽菅徳嘉
▽菅徳治▽菅春枝▽菅昌敏▽
菅誠▽菅ひろ▽菅ゆかり▽菅
勇二▽菅ゆり子▽菅祐子▽木
内毅▽木内真智子▽菊池吉三
▽菊池久美子▽菊池直一▽菊
池美智▽菊池ゆかり▽菊
池麗子▽岸明美▽岸孝彦▽岸
寅雄▽岸ナツ子▽岸裕基▽岸恵
美▽京藤光男▽香澤百合子▽
熊沢里美▽国分邦男▽小関潤
一▽古関今朝夫▽香澤白合子▽
後藤晴義▽後藤浩美▽後藤シ
工▽小林吉雄▽斉藤菊雄▽斉藤
公太郎▽齊藤常久▽齊藤勉▽
斉藤寿栄▽斉藤ノブ▽斉藤秀
明▽斉藤光利▽斉藤光雄▽佐
々木孝一▽佐々木修一▽佐々
木重四郎▽佐々木正志▽佐々

木義正▽佐々木良▽佐藤明美▽
佐藤勝吉▽佐藤静江▽佐藤環
▽佐藤俊之▽佐藤高明▽佐藤安司
▽佐藤義男▽三部敏幸▽柴崎和
幸▽柴崎継夫▽柴崎希▽柴崎昌
子▽柴崎美香▽泷井恵一▽下
山博▽下山西▽下山千鶴子▽下
邦彦▽庄司修子▽白倉千代子▽
鈴木宏▽鈴木正子▽岡越博▽
相馬広恵▽高橋昭文▽高橋かお
り▽高橋和子▽高橋幸子▽高
橋太美▽高橋俊英▽高橋文
弘▽高橋美郷▽高橋ひろ滝口
▽田嶋耕太郎▽田中壽巳▽田
田宮昭▽田宮秀記▽田村ミ
子▽田村幸雄▽田中隼美▽田
寺崎昭子▽寺崎精一▽寺崎晴
利▽戸塚佳世▽中島高明▽中
嶋武▽中嶋正喜▽中村高久▽
二階堂満▽二戸香織▽二戸喜
二▽二戸菊精▽二戸清▽二
戸クニ▽二戸佐知子▽二戸ハ
源▽沼沢拓▽沼沢久▽二戸
ル義▽沼沢沢次▽沼沢久夫▽
野口信也▽野口政敏▽野尻咲子

▽長谷川富美子▽長部純子▽
早坂英美▽林真美▽引地智
▽引地英元▽引地正義▽引地智
裕一▽深田浩文▽深田良一▽
福井守▽藤井和子▽藤井紀登
美▽藤畑敬美▽北條晴美▽星
川佳一▽保科ま子▽細矢昭男
▽堀安子▽堀幸良▽松井峯雄
▽松浦順子▽松田憲一▽三上
準一▽宮嶋慎一▽宮嶋美シ▽
森生子▽森下留美▽森康夫▽
森谷律子▽森由宇利▽矢口淳
▽矢口ミヅ子▽矢作由樹▽山口
隆司▽山口マコ▽アヰ▽山口成
子▽山口宏▽山口広好▽山崎
子▽山田勝信▽山田博正▽
山田美由紀▽山野幸山▽結城
恵美子▽結城修悦▽結城富子
▽遊佐政樹▽吉田憲一▽吉田
節夫▽吉田知未▽吉田八十八
▽渡辺めぐみ▽渡部義信

▽沼田建設つるしの会▽赤倉
観光タクシー▽株伊藤土建▽

大堀保育所職員 同▽押切鉄
工所▽観松館▽有 斉藤自動車
▽JA青年部▽町観光協会青年
部▽もがみ南商工会青年部▽
柴崎喜久光商店▽鈴木洋品店
▽仙台コカ-Cola▽新庄営業所
▽富沢小学校▽水井医院▽鳴
洗クレーン▽シグマ▽株富士薬品
▽アーサロ▽株 結城マ
キ子▽キリスト教最上黒沢教会
▽最上中学校▽最上病院看護
師一同▽最上町役場女性部▽
最上町教育委員会

善意の紹介

H23.5.31までの
受付分

救援物資をお寄せいただいた皆さん

救指定の避難所での食事づくりや清掃、
救援物資の仕分け作業等に、135人も
の皆さん（町社会福祉協議会にボラン
ティア登録をされた方）からご協力をい
ただきました。

ボランティアにご協力 いただいた皆様

救指定の避難所での食事づくりや清掃、
救援物資の仕分け作業等に、135人も
の皆さん（町社会福祉協議会にボラン
ティア登録をされた方）からご協力をい
ただきました。

○上記のお名前は、町対策本部や町社会福祉協議会が
直接受けを行った皆さん（受付簿に記載された方）
です。なお、紙面の都合により、お名前のみ掲載とし、
敬称は省略させていただきますのでご了承ください。
○上記のほか、食料提供などたくさんの方の善意をいただきま
した。次回の情報紙でご紹介します。

○町災害対策本部と町社会福祉協議会の連名により、3月15日から町内の主な公共施設で
義援金と救援物資の受付を行ったところ、上記に掲載の個人、団体、事業所の皆さんから
たくさんの方の善意をいただきました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。